

**【夏季限定】高校生、大学受験生を対象に大学図書館を開放します**  
—武蔵大学図書館（本館・洋書プラザ）で勉強できます—

武蔵大学（東京都練馬区／学長 高橋徳行）は、高校生・大学受験生を対象に夏季限定で大学図書館（本館・洋書プラザ）を開放します。期間中は館内に入試コーナーも設置され大学案内や過去問題集など自由に利用できます。図書館には 65 万冊の蔵書や最新の雑誌、新聞コーナーなどがあり大学ならではの環境を体験できます。本年は7月31日、8月6日、8月7日の3日間にわたり、事前予約制の来場型オープンキャンパスも開催します。本学は様々な角度から大学を体感する機会を設け、自分にあった進路を研究する受験生を応援しています。

### 大学図書館開放の概要

**【期間】**2022年8月1日（月）～9月2日（金）の月曜日から金曜日

※本館と洋書プラザで開館日が異なりますのでご注意ください

本館<8月1日～9月2日>

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2		

洋書プラザ<8月1日～9月2日>

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2		

（背景色グレーの日は閉館）

**【利用時間】**9時～18時（本館・洋書プラザ共通）

#### 【入館方法】

- ・高校生：在籍高等学校の生徒証の提示
- ・予備校生（大学受験予備校に限る）：大学受験予備校の在籍証明書の提示
- ・16歳から20歳の大学受験生：年齢を証明する身分証の提示

#### 【利用内容】

館内での図書・資料閲覧、図書・資料探しのためのパソコン検索、閲覧席の利用（閲覧・受験勉強・自習など）※PC設置席、ディスカッションスペースは使用不可

■参考<武蔵大学図書館について> 蔵書数 65万冊

本館の主な施設：演習室、ディスカッションスペース、PC設置席、  
個人ブース（PC貸出可）、視聴覚ブースなど  
洋書プラザの主な施設：PDP図書コーナー、閲覧席など



■武蔵大学図書館 <https://www.musashi.ac.jp/library/>

—本件に関するお問い合わせ先—

武蔵大学 広報部

TEL : 03-5984-3813 FAX : 03-5984-3727 E-mail : [pubg-r@sec.musashi.ac.jp](mailto:pubg-r@sec.musashi.ac.jp)

2022年4月17日、武蔵学園は創立100周年を迎えました



## ■武蔵大学 日本で初めてリベラルアーツ教育を行った旧制高等学校がルーツ

〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩6分〕

武蔵大学のルーツは、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正11）年に私財を投じて創立した日本初の私立七年制の旧制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和23）年4月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開設され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。一年次から4年間のゼミナール（小規模で対話型の授業を含む）が必修で「ゼミの武蔵」といわれる。2012年には、外国語や異文化を楽しみながら学ぶことのできる国際村 Musashi Communication Village（通称 MCV）を開設、キャンパス内留学の拠点とした。

2020年3月には、ロンドン大学と武蔵大学とのパラレル・ディグリー・プログラムにおいて初のロンドン大学学位取得者を輩出、グローバル教育の更なる発展に力を注いでいる。

2022年4月、学園創立100周年を迎えるこの年に、新学部となる国際教養学部を開設し、経済、人文、社会、国際教養の4学部9学科となった。

学長 高橋 德行

〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1